

切磋琢磨

【第12号】 令和8年9月18日(金)

世界の国々の暮らしについて学びました!!

9月15日(火)5・6限の総合的な学習の時間、金沢国際交流財団より4名の外国出身の国際交流員の方々に来ていただき、世界の国々の暮らしについてのお話をうかがいました。金沢のまちづくり提言を行う上で、国際理解・交流の観点から「改良したい点」のヒントを見つけることができました。

10月13日(火)、今回の国際交流員の方々に、金沢のまちづくり提言を聞いていただく予定です。



ジェシカ・ラングさん
(アメリカ)

程文静さん
(中国)

チョン・インヘさん
(韓国)

ニグストファー
・クロティルドさん
(フランス)



生徒の感想を紹介します。

吉田 衣杜 さん

私はフランスのクロティルドさんのお話が1番印象に残っています。もともとフランスには興味があったのでお話を聞けてよかったです。フランスには制服がなく、顔を合わせて挨拶をするなど日本とのちがいをたくさん知ることができました。金沢のまちづくり提言を行うにあたって、外国人の立場になって考えることが大切だと思いました。

神田 圭 さん

アメリカについての説明の感想で、普段は地理で習うような首都などしか知っていることはなかったけれど、ニグストファー・クロティルドの説明から、具体的に金沢と深い関係を持ち、共通点、相違点を持っていることを深く学ぶことができました。金沢のまちづくり提言では、海外の方々から見て、金沢がどのようなものか深く理解できるように、そして課題点が明確になるように、意識したいと思いました。

向川 龍太 さん

韓国での自己紹介の仕方がわかりました。キムチがとても有名で種類が結構あるのは知っていたけれど、キムチ専用の冷蔵庫があることは初めて知りました。中国では50民族以上いることに驚きました。金沢のまちづくり提言では、日本語がわからない外国人でも利用できるような視点を入れたいと思います。

鈴木 心春 さん

中国の伝統衣装がとても興味深かったです。日本は、単一民族国家と聞いたので、中国には、たくさんの民族がいて、それぞれの衣装も違ったので面白かったです。中国はとても広いので、寒い地域から温かい地域まであるので、気候に合わせて服装も変化したのかなと思いました。金沢のまちづくり提言では、まず、スライドのイラストを改良したいです。そして、住み続けることができるまちづくりに外国人のことを入れていなかったため、それを入れたいと思いました。